

令和5年度事業報告

はーとさぼーと阿久和

基本方針に対する 達成状況	チームで支えあう事業所づくりの基本方針のもと、スタッフの個性や考えを尊重しながら、全体で課題に取り組むことで、安定した稼働や支援の継続に繋げることができた。年度後半については、事業所の統合などの影響もあり、事業所の方針変更や複数の職員の離職などもあった。新年度に向けた体制を整える中で、協力体制を築くことができたことは明るい兆しであった。
重点項目に対する 達成状況	・生活介護としての訓練プログラムに加え、可能な利用者については軽作業や洗濯の作業に参加。ひとりひとりが役割を意識して取り組むことで、日々の生活に積極性が見られるようになった。 ・グループでの過ごしについてはランチ会や地域でのイベント参加を定期的に行い、グループの中での適切な過ごし方について、適宜学ぶ機会を用意。そこで見られた個々の課題を振り返りながら、繰り返し実施していくことで、それぞれが落ち着いて行動する習慣が身につくようになった。
稼働目標に対する 達成状況	・定期的な通院や持病などの状況により、欠席がみられたため登録こそ定員に近い人数であったが、稼働としては定員に対し8割程度にとどまる。プログラムや職員配置の構造上、障がい支援区分の高い利用者を受け入れることは現状難しく、個別の単価についても、概ね令和4年度と同程度になった。
予算執行状況	上半期については、当初計画と同程度の人員配置、事業展開を行うことが出来た。一方で、燃料費等の経費が値上がりしており影響が大きかった。下半期については職員の入れ替わりやコロナウィルス感染症のまん延があり、稼働自体が不安定になったため、やや収入の落ち込みが見られる。
事業およびサービス 目標に対する達成 状況	・事業自体も6年目に入り、利用者、職員共に無理のないペースの中で事業展開を行うことができていたため安定的にサービスを提供できていた。事業所内の併設サービスの再編やそれに伴う職員の入れ替わりにより、下半期については、やや安定性を欠いたサービスの展開となった。これまでの事業所と利用者の関係性の中から、令和6年度についても継続的にサービス利用を希望される利用者が多いことは、これまでの継続的なかわりかを実感した結果と言える。 ・事業を再編し、継続してサービス提供を行う中においては、プログラムの明確化や職員間の支援方針の共有。利用者の状況を適切に把握することで、落ち着いて通える事業所を提供できるよう、対応する。
その他事業計画に 対する達成状況	法定化されている、虐待防止やハラスメント、事業継続計画については計画通りに実施出来ているが、現状の内容がどこまで実態に即したのかについては課題が残り、今後も継続した検討。訓練の積み重ねが必要となる。 ・令和6年5月から新たな職員、運営体制のもとにサービスを展開していくなかで、意識や知識を共有し、より安全なサービス提供を目指していきたい。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	6人	120人	95人	
5月	6人	120人	84人	
6月	6人	132人	104人	
7月	6人	120人	89人	
8月	6人	132人	74人	
9月	6人	120人	73人	
10月	6人	126人	79人	
11月	6人	120人	72人	
12月	6人	114人	82人	
1月	6人	114人	67人	
2月	6人	120人	74人	
3月	6人	120人	89人	

利用者別の内訳

月	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	その他	備考	合計
4月			2	3	1				6
5月			2	3	1				6
6月			2	3	1				6
7月			2	3	1				6
8月			2	3	1				6
9月			2	3	1				6
10月			2	3	1				6
11月			2	3	1				6
12月			2	3	1				6
1月			2	3	1				6
2月			2	3	1				6
3月			2	3	1				6

年間行事等の報告

4月	ランチ会 春の外出レク（お花見）（法定）建物設備点検
5月	ランチ会 外出レク
6月	ランチ会 外出レク
7月	ランチ会 外出レク
8月	ランチ会 外出レク
9月	ランチ会 防災訓練 外出レク 恵フェスティバル
10月	ランチ会 外出レク（法定）建物設備点検
11月	ランチ会 外出レク
12月	ランチ会 クリスマス 外出レク
1月	ランチ会 防災訓練 外出レク・虐待防止研修
2月	ランチ会 外出レク
3月	ランチ会 勉強会 外出レク・BCP研修